



セカンドブック贈呈式



ラーニングセンター



親子読書



このように、一年生は「朝読書」「セカンドブック」「ラーニングセンター」と読書の環境にとっても恵まれています。読書は知識だけではなくその人の人生そのものも豊かにしていつてくれます。このような環境をいかして、子どもたちを本好きにしたいです。そして、子どもたちの心を広く深く耕していきたいら良いなと思います。

読書の環境の中心は図書館です。信濃小中学校ではラーニングセンターと充実しているラーニングセンター。蔵書が約二万冊で、今後も増えていくとのこと。一人あたり三十一冊もありません。蔵書の多さだけでなく、ラーニングセンター自体の雰囲気や環境もとても良いです。落ち着いて「読書しよう」とそんな気持ちにさせてくれる雰囲気です。一年生も週一時間のラーニングセンターの時間をとても楽しみにしています。

充実しているラーニングセンター

出深い時間になったと思います。お話を聞かせていただくことのようなことを始めたのはまだ年月が浅いようですが、小学校入学という節目の時に、素敵な本が頂けるなんてな恵まれているんだらうと思います。信濃町に育っている子どもはとても幸せです。

School Correspondence



信濃小中学校だより そよげわか竹

子どもを読書好きに

信濃小中学校には子どもたちの心を育てる環境が数多くあります。その一つが読書の環境です。

一日のスタートは読み聞かせから

信濃小中学校の一日は「朝読書」からスタートします。一年生は「読み聞かせ」をしています。一年生は読み聞かせが大好きです。家の方の読み聞かせ、保育士さんの読み聞かせと子どもたちの生活の中に読み聞かせが位置付いています。その流れを受け継いで、担任や支援員が読み聞かせを行っています。子どもたちは話の世界に入り込み話の内容で一喜一憂しています。

四月は教室で読書や読み聞かせをしていましたが、五月からはラーニングセンターでの読書も始めました。そして、六月からは本の貸し出しも始めました。本をできる限り子どもたちの生活の中で身近なものにしていきたいと思っています。「この一冊で自分の人生が変わった。」なんて大げさですが、そんな本にいつか出会ってほしいです。

セカンドブックとの出会い

セカンドブック贈呈式が五月二日に行われました。教育長さん直々に贈呈していただきました。その後、保護者の方にセカンドブックの読み聞かせをしていただきました。子どもたちにとっては思い

読み聞かせ

